

I. 私たちは金の香壇のビジョンを見る必要があります(出30:1-10):

出30:1 あなたはまた、香をたく祭壇を作らなければならない。それをアカシア材で作らなければならない。2 その長さは一キュビト、その幅も一キュビトで、それは正方形であり、その高さは二キュビトでなければならない。香壇の一部として角がなければならない。3 その頂と四つの側面と角を純金で覆い、その周りに金の飾り縁を作らなければならない。6 あなたは香壇を、証しの箱の上にある垂れ幕の前、証しの箱の上にある罪を覆う蓋の前に置かなければならない。私はそこであなたと会う。7 アロンはその上で、かおり高い香をたかなければならない。朝ごとにともし火を整えるとき、香をたかなければならない。

A. 香壇は、神と彼の民の間の関係を維持する、とりなす方としてのキリストを表徴します:

ヘブル7:25 こういうわけで、彼を通して神に進み出る者たちを、彼は極みまで救うことができます。なぜなら、彼はいつも生きていて、彼らのためにとりなしておられるからです。

ローマ8:34 だれが罪に定めるのですか？ キリスト・イエスは死んで、さらに復活させられ、神の右で、私たちのためにとりなしておられます。

1. 香壇は、キリストのパーソンの予表です。

2. 香壇は、祈るキリスト、とりなすキリストを表徴します(ヨハネ第17章)。

B. 香壇は、幕屋と外庭における他のすべての場所での活動が動機づけられる場所です。キリストのとりなす生活は、私たちを動機づけて、祭壇、洗盤、机、燭台、箱を経験させます。

もし私たちが中心、香壇を持っていないなら、幕屋と外庭のどの面も、私たちの経験において効力がないでしょう。おお、私たちは祈りの生活を持たなければなりません！ 私たちは香壇を持たなければなりません。祈りの生活は、私たちを動機づけて、祭壇、洗盤、机、燭台、箱を経験させます。あなたは少しでも祈るなら、経験の中で、臨在[供え]のパンの机が尊いこと、燭台が優勢であること、箱が魅力あることを見いだすでしょう。

私たちは幕屋の器具について多くの知識を持っているかもしれませんが。聖所の中と至聖所の中にあるものを知っているかもしれませんが。それにもかかわらず、私たちの経験で幕屋のこれらの面を何も持たないかもしれません。私たちはモーターのない機械のようであるかもしれません。あなたは私たちの存在の中の「モーター」、私たちの体、魂、霊の中のモーターが何であるかを知っているのでしょうか？ そのモーターは祈りの生活です。キリストはパン、光、箱であるだけではありません。彼はまた香壇でもあります。これは、彼が動機づける方、またモーターでさえあることを意味します。ですから、私たちは彼を、私たちの祈りとして享受する必要があります。

C. 宇宙における神の行政を執行する中心は、啓示録第8章の香壇です：

啓8:3 また、もうひとりの御使いが来て、金の香炉を持って祭壇の所に立った。多くの香が彼に与えられたが、それはすべての聖徒の祈りと共に、御座の前にある金の香壇の上にささげるためであった。

4 その香の煙は、聖徒たちの祈りと共に、その御使いの手から神の御前に立ち上った。

私たちは香壇を学ぶとき、宇宙で最大の事柄を学んでいるのです。これ以上に中心的なものはありません。…至聖所の中の箱は、中央政府、私たちの天的ワシントンD. C. です。香壇は、私たちの天的ホワイトハウスと考えられます。これは、あらゆることがこの神聖な中心から執行され…ることを意味します。

1. 啓示録は、神の行政の書、神聖な執行の書です：

a. この書は、神の御座と、宇宙全体における神の行政を啓示しています。

啓4:1 これらの事の後、私は見た。見よ、天で門が開かれた。そして、私が聞いた最初の声が、ラッパのように鳴り響き、私に語って言った、「ここに上って来なさい。これらの事の後には必ず起こる事を、あなたに見せよう」。2 直ちに、私は霊の中にいた。すると見よ、御座が天に据えられていて、その御座に座している方がおられた。5 御座からは、いなずまと声と雷鳴とが発している。そして七つの火のともし火が、御座の前で燃えていた。この七つの火のともし火は、神の七つの霊である。

b. 啓示録、すなわち神の執行の書において、私たちが見るのは、神聖な行政、神聖な執行が常に香壇によって遂行されるということです。

2. 啓示録第8章3節において、香壇は直接、神の權威の御座の前にあります：

a. キリストはもうひとりの御使いとして来て、彼の香を聖徒たちの祈りに加えます(3節)。

b. 次に、この香は、行政の御座におられる神に昇り、そして神は聖徒たちの祈りに答えます(4節)：

(1) 聖徒たちの祈りがキリストの香と共に神に昇るとき、神は彼の行政の政策を執行します。

(2) その結果、火が地に下って来て、神聖な裁きを執行します。啓8:5 その御使いは香炉を取り、それに祭壇の火を満たして地に投げた。すると、雷鳴と声といなずまと地震とがあった。

D. キリストのとりなす生活、彼の祈りの生活は、神聖な行政の中心、また地上で彼の統治を執行する中心です：

1. 神の行政を執行することは、香壇から神にささげられる祈りによって動機づけられます。

2. 香壇でささげられる祈りは、宇宙を支配します。

3. これが描写するのは、香壇が行政を執行する神の御座であって、神が彼の行政において彼の裁きを執行することです。

4. 神の行政の執行が、香壇から神にささげられる祈りによって動機づけられることを私たちが見るのは、極めて重要です。

E. キリストの復活と昇天の後、個人のキリストは団体のキリストとなりました。こういうわけで、今日、神の御前で、個人のキリストがとりなしているだけでなく、団体のキリスト、かしらとからだも、同じようにとりなしています：

Iコリント12:12 それは、体が一つであっても多くの肢体があり、体のすべての肢体が多くあっても一つの体であるように、キリストも同様だからです。

使徒12:5 こうして、ペテロは獄中に監禁されていた。召会は、彼のために熱心に祈りを神にささげていた。

1. 今日、とりなす者はキリストご自身だけでなく、キリストと彼のからだです。
2. かしらであるキリストは天上でとりなしており、からだである召会は地上でとりなしています。
3. 私たちはキリストの肢体、またからだ・キリストの一部として、キリストのとりなしの務めにおいて彼と協力し、私たちのとりなしの祈りにおいて彼のとりなしを遂行します。

ローマ8:27 心を探る方は、その霊の思いが何であるかを知っておられます。なぜなら、彼は神にしたがって、聖徒たちのためにとりなしてくださるからです。

Iテモテ2:1 そこで、私は勧めます。何よりもまず、すべての人のために、願いと、祈りと、とりなしと、感謝とをささげなさい。

F. 私たちが香壇についてはっきりと見るなら、私たちの祈りの生活が徹底的に変えられ、そして私たちは、神の定められた御旨を執行するため、神聖な行政を遂行するため、神の供給する恵みの分与のために祈るようになります。

II. 私たちは金の香壇を経験する必要があります(出30:1-10. ローマ8:26-27. Iテモテ2:1)：

A. 私たちは、キリストのとりなす生活にあずかる必要があります。

エペソ6:18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。19 また、私のためにも祈ってください。それは、私が口を開く時、言が私に与えられ、福音の奥義を大胆に告げ知らせることができるためです。

IIテサロニケ3:1 最後に、兄弟たちよ、私たちのために祈ってください。主の言が、あなたがたの所でもそうであるように、速やかに宣べ伝えられ、栄光を得るように、

B. 私たちがどのような祈りを持つかは、私たちがどのような人であるかにかかっています：

Iテモテ2:8 ですから、男たちは怒ったり議論したりすることなく、あらゆる所で聖い手を挙げて祈ることを、私は願っています。

1. 私たちの祈りは、私たち自身を代表し、私たちという人を明らかにし、私たちがだれであるか、私たちが何であるか、私たちがどこにいるかを明らかにします。
2. 私たちが神の中にいるか、それとも神の外にいるかは、私たちが祈る方法によって示されます。

C. 私たちが香壇でキリストと共にとりなそうとするなら、三つの極めて重要な事柄を見る必要があります:

1. 私たちは祈るとき、幕屋の中にいるべきです。すなわち、私たちは神の中にいるべきです:

ヨハネ1:14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった。

14:2 私の父の家には多くの住まいがある。もしそうでなかったなら、私はあなたがたに話したであろう。あなたがたのために、場所を用意しに行くのである。20 その日には、私が私の父の中におり、あなたがたが私の中におり、私があなたがたの中にいることを、あなたがたは知るであろう。

15:4 私の中に住んでいなさい。そうすれば、私もあなたがたの中に住む。枝がぶどうの木の中に住んでいなければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたも私の中に住んでいなければ、実を結ぶことはできない。7 あなたがたが私の中に住んでおり、私の言葉があなたがたの中に住んでいるなら、何でも望むものを求めなさい。そうすれば、それはあなたがたにかなえられる。

a. 幕屋の絵は、肉体と成った神としてのキリストを描写します。

b. 香壇は、肉体と成った神を表徴する幕屋の中心にあるので、金の香壇にいることは、肉体と成った神の中にいることです。

c. 私たちは祈るときはいつでも、経験的に神の中にいるべきです。その時、私たちは神に祈るだけでなく、神の中で祈ります。

2. 私たちは祈ろうとするとき、まず聖なる食物を食べることによって満足すべきです。すなわち、私たちの内側にいる力の供給としての神をもって祈るべきです:

ヨハネ6:56 私の肉を食べ、私の血を飲む者は、私の中に住み、私も彼の中に住む。

a. 私たちは、臨在[供え]のパンとしてのキリストから養いを得る必要があります。

出25:30 机の上には臨在[供え]のパンを置いて、常に私の前にあるようにしなければならない。

b. 私たちが香壇に来ようとするなら、私たちは神の中にいる人、また神を私たちの中に持っている人でなければなりません。すなわち、私たちは神と一であり、神とミングリングされているべきです。

I コリント6:17 しかし、主に結合される者は、主と一つ霊になります。

3. 私たちは祈るとき、神に香をささげるべきです。すなわち、私たちは香としてのキリストをもって祈るべきです。

出30:34 また、エホバはモーセに言われた、「かおり高い香料、すなわち、ナタフ香とシケレテ香とヘルベナ香、これらのかおり高い香料と純粋な乳香を取りなさい。これはそれぞれ同じ量でなければならない。

35 あなたはそれをもって香を、すなわち香料を調合する者のわざにしたがってかおり高い複合物を作り、塩を添え、純粋で聖なるものとしなければならない。37 あなたがたが作る香はその成分にしたがって、自分のために作ってはならない。それはあなたがたにとって、エホバのために聖なるものでなければならない。 4

D. 私たちは香壇で祈るとき、私たちの祈りには異火(ことび)も異なる香もありません:

レビ10:1 さて、アロンの子たち、ナダブとアビフは、それぞれ自分の香炉を取って、火をそれに入れ、香をその上に盛って、異火をエホバの御前に献(ささ)げた。それは、エホバが彼らに命じておられなかったことである。

出30:8 アロンは夕暮れにともし火をともしるとき、香をたかなければならない。これは、あなたがたが代々にわたって、エホバの御前に常にささげる香である。9 あなたがたはその上に異なる香や、全焼のささげ物や穀物のささげ物をささげてはならない。

1. 私たちの祈りの中で異火を持つことは、天然的で、十字架によって対処されていないある種の動機を持つことです。
2. 私たちの祈りの中で異なる香を持つことは、キリストと関係がないことを祈ることです。

異なる香をささげることは、キリストご自身以外の何かを祈ることであると聞くとき、ある人たちは尋ねるかもしれません、「あなたは、私たちが結婚生活や家庭生活について祈るべきでないと言うのでしょうか？ 私たちは実地的な人の諸事について祈るべきではないということでしょうか？」。私はあなたに、何のために祈るべきかを告げようとは思いません。しかしながら、私はあなたに、キリストと関係があることをどれほど祈っているか、自らに尋ねる必要があると言うことができます。このようにあなたの祈りの生活を考えるなら、あなたがどこにいるかを見いだすでしょう。

しかしながら、私は、私たちが自分の個人的な諸事について、あるいは私たちが必要とする物質の事のために祈るべきではないと言っているのではないことを、明らかにしたいのです。ここでの私の要点は、私たちの祈りがどれほどキリストと関係があるか、自らに尋ねるということです。この質問は、私たちが祈ることが真の香であるか、それとも異なる香であるかを明らかにするテストです。

異火とは何でしょうか？ 予表によれば、異火とは、全焼のささげ物の祭壇で燃える火以外のあらゆる火です。外庭の祭壇で燃えた火は、天から下って来ました。その火は天から下って来た後、続けて祭壇の上で燃えていました。香は第一の祭壇からの火でたかれなければなりません。もしあなたが他のどの火によってでも香をたくなら、それは異火となります。

異火を持つとは、私たちの内側に、天然的で、十字架によって対処されていないある種の動機を持つことです。十字架によって対処されておらず、しかも祈るように私たちが動機づけるものは何であれ異火です。私たちがこれを見るなら、極めて多くのクリスチャンが、天然の動機によって祈るように動機づけられていることを認識するでしょう。彼らの動機は決して十字架によって触れられたことはありません。その結果、彼らは異火をもって祈ります。

E. 私たちは幕屋の中の香壇で祈ろうとするなら、燃やされて灰になり、減少させられて無になる必要があります：
レビ6:13 火は祭壇の上で絶えず燃え続けさせなければならない。それを消してはならない。
詩20:3 彼があなたの穀物のささげ物をすべて覚え、あなたの全焼のささげ物を脂肪として受け入れられますように。セラ
ガラテヤ2:20 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。そして私は今、肉体の中で生きているその命を、私を愛し、私のためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。
Iコリント1:28 また神は、有るものを無いものとするために、この世の生まれの卑しい者、さげすまれた者、すなわち無きに等しい者を選ばれました。

1. 幕屋の中にいることは、神の中にいることです。神の中にいるために要求されることは、私たちが無になることです。

ヨハネ15:4 私の中に住んでいなさい。そうすれば、私もあなたがたの中に住む。枝がぶどうの木の中に住んでいなければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたも私の中に住んでいなければ、実を結ぶことはできない。⁵ 私はぶどうの木であり、あなたがたはその枝である。人が私の中に住んでおり、私もその人の中に住んでいるなら、その人は多くの実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もすることができないからである。

2. もし私たちが燃やされて灰になるなら、私たちはもはや天然的ではないでしょう：

Iコリント2:14 しかし魂の人は、神の霊の事柄を受け入れません。なぜなら、彼にとって、それは愚かであるからです。また彼は、それを知ることができません。それは、霊によって識別されるものだからです。
15 しかし霊の人は、すべての事柄を識別しますが、彼自身はだれにも識別されません。

a. 私たちの行為、見方、美德は、私たちの天然の存在と等しく、それは神の証しとしてのキリストに相対します。
b. 私たちが香壇で祈ろうとするなら、私たちはもはや天然の行為、天然の見方、天然の美德を持ってはなりません。

例えば、ある兄弟は自分自身をとて優しく親切であると思うかもしれませんが。特に、結婚した兄弟は、自分自身を妻よりはるかに優しいと考えるかもしれませんが。しかし幕屋の香壇で祈る人は、自分自身についてこのように考えません。幕屋の金の香壇で祈る人は、灰となった人です。これは、彼がもはや自分の天然の美德を持っていないことを意味します。彼の天然の美德と共に、彼の天然の行為と見方が灰になりました。

c. 私たちが香壇で祈ろうとするなら、キリストを正しい行為のための私たちの命の供給として、正しい見方のための私たちの光として、神に昇る甘いかおりを持つための私たちの美德として持たなければなりません。

F. 私たちが香壇で祈るとき、自分自身で占有されることは非常に難しいのです：

1. 香壇でささげられる祈りには自己が含まれていません。その理由は、私たちが香壇で祈るには、まず灰とならなければならないからです。

2. 私たちは香壇で、神のエコミー、神の分与、神の行動、神の回復のために祈ります。

経験: 学生生活編

- ① 学校のクラスには様々な種類の人があります。「勉強ができて人間関係がうまくいかない人」、「友人とはコミュニケーションできるが緊張しやすく先生とのコミュニケーションがうまくいかない人」、「良い人ではあるが複雑な人」、「元気がありすぎて問題を頻繁に起こす人」、「勉強せずに遊んでばかりいて短絡的な人」、「両親とうまくいかずに悩んでいる人」、「ネットゲームに没頭して、現実の世界で人間関係を築けない人」などがいます。墮落した人には皆、特異性があり、この特異性が人の有用性を妨げています。
- ② このような環境は、主があなたを成就するためにアレンジしています。どのようにクラスメイトの長所から学び、また短所から警告されるのかを知ってください。あなたは識別力とオープン・マインドが必要です。主はあなたの魂(思い、意志、感情)の牧者であり、これらの環境を用いてあなたの霊から、魂の特異性を照らし、調整し、造り変え、成就することができます。
1ペテロ2:25 あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、あなたがたの魂の牧者また監督者に立ち返ったのです。**5:10** …あなたがたがしばらく苦しみを受けた後、彼自らあなたがたを成就し、堅固にし、力づけ、土台づけてくださいます。
- ③ あなたの精神的なキャパシティを広げることを妨げているのは、特異性です。特に、あなたは個人主義を対処する必要があります。金の香壇の祈りは、自分自身のためではなく神の永遠のご計画のためです。個人主義を持ったまましていると、香壇の祈りができないので、あなたは主にとって役に立たない人になってしまいます。原則は学校でも、将来あなたが働く会社でも同じです。主がアレンジした環境の中で、主とあなたを導いている兄弟姉妹に開き、個人主義を含む特異性を対処してください。そうすれば、あなたの魂は牧養され、成就されて、精神的なキャパシティが広がられます。その結果、あなたは神と人にとって有用になることができます。
- ④ 召会生活も団体生活ですので、様々な衝突を避けることはできません。様々な衝突の中で、あなたは主と兄弟姉妹との親密な交わりを通して、十字架を経験し、調整されることを経験してください。頑固な人は主と人の話を聞かないので、調整されることができません。実は、あなたの多くの問題は、微調整される必要があるだけです。ラジオの周波数は正確に調整されなければ放送を全く聞くことはできません。同じように、あなたが人間関係の中で、霊を活用し主の御名を呼び、自分自身(魂)を微調整することができるなら、あなたが取り扱う様々な案件を成功にもたらしすることができます。
- ⑤ 聖書は、あなたが実を結ぶ人になるようにと言っています。ぶどうの木は、観賞用、家の建造用、燃料用に全く役に立ちません。それは実を結ぶ以外に何の機能もありません。ぶどうの木にとって、実を結ばない枝は全く役に立たない枝です。同じように、あなたは物事を扱うとき、それについて考えたり、いいことをするだけであってはいけません。あなたは必ずそれを正しい最終結果(実を結ぶこと)に導かなければなりません。あなたは主の知恵と力の中で、物事を正しい最終結果に向けて集約(Narrow down)させていくべきです。このためにあなたは特異性を団体生活の中で対処しなければなりません。
ヨハネ15:7 あなたがたが私の中に住んでおり、私の言葉があなたがたの中に住んでいるなら、何でも望むもの(実を結ぶことに関する)を求めなさい。そうすれば、それはあなたがたにかなえられる。

568祈り—主と交わる

1. 主とまじわるため、れいをもちいて、
主の御かおたずね、臨ざいもとめる。
(復)かおおいなしに、主を見つめつつ
かくれたところで、ひたすらいのる。
2. 主とまじわるため、うちをひらいて、
真じつとまことで、単いつにいのる。
3. 主とまじわるため、れいにていのる；
信こうもてもとめ、主を待ちのぞむ。
4. 霊としんじつもて、主とまじわりし、
れいのかんかくにしたがい、いのる。
5. 主のかたりかけを、せつにもとめる；
主のこころを知って、御むねをいのる。
6. 御かおのかがやき、われを照らして、
われにしんとうし、えい光かがやく。

1. 祷告与主来往交通，衿面灵里来寻求；
衿前求问并且静听，隐密之处来等候。
(副) 祷告与主来往交通，衿面灵里来寻求；
衿前求问并且静听，隐密之处来等候。
2. 祷告与主来往交通，从你里面全敞开；
敞着脸面将衿瞻仰，单一、纯洁又实在。
3. 祷告与主来往交通，凭信将衿来寻求；
学习来摸衿这活灵，恭敬、仰望并等候。
4. 祷告与主来往交通，以灵、以真为秘诀；
总要凭灵祷告、求问，照着里面的感觉。
5. 祷告与主来往交通，诚恳静听衿所言；
让衿心意印刻于你，使你成全衿心愿。
6. 祷告与主来往交通，沐浴在衿面光中；
让衿荣美将你浸透，使你返照衿面容。

#784 Prayer - Fellowship With The Lord

- | | | |
|--|---|---|
| <p>1 Pray to fellowship with Jesus,
In the spirit seek His face;
Ask and listen in His presence,
Waiting in the secret place.
Pray to fellowship with Jesus,
In the spirit seek His face;
Ask and listen in His presence,
Waiting in the secret place.</p> | <p>3 Pray to fellowship with Jesus,
Seeking Him in confidence;
Learn to touch Him as the Spirit,
Looking up in reverence.
Pray to fellowship with Jesus,
In the spirit seek His face;
Ask and listen in His presence,
Waiting in the secret place.</p> | <p>5 Pray to fellowship with Jesus,
List'ning earnestly to Him;
Be impressed with His intentions,
Yielding to Him from within.
Pray to fellowship with Jesus,
In the spirit seek His face;
Ask and listen in His presence,
Waiting in the secret place.</p> |
| <p>2 Pray to fellowship with Jesus,
Fully opened from within,
With thy face unveiled, beholding,
Single, pure, and genuine.
Pray to fellowship with Jesus,
In the spirit seek His face;
Ask and listen in His presence,
Waiting in the secret place.</p> | <p>4 Pray to fellowship with Jesus,
Speaking nothing in pretense;
Ask according to the spirit,
Praying by the inner sense.
Pray to fellowship with Jesus,
In the spirit seek His face;
Ask and listen in His presence,
Waiting in the secret place.</p> | <p>6 Pray to fellowship with Jesus,
Bathing in His countenance;
Saturated with His beauty,
Radiate His excellence.
Pray to fellowship with Jesus,
In the spirit seek His face;
Ask and listen in His presence,
Waiting in the secret place.</p> |